



平成22年3月期第3四半期決算説明資料

株式会社 **インボイス**

平成22年2月12日

平成22年3月期第3四半期決算の概要

(単位:百万円)

| 【平成22年3月期第3四半期】 | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 税引前当期純利益 | 当期純利益 |
|------------------------------------|--------------------|---------------------|--------------------|--------------|--------------------|
| インボイス + インボイスJr. (前年同期比) | 58,912 (+ 3.7%) | 2,199 (+ 42.5%) | 1,944 (+ 28.8%) | 1,922 (-) | 1,841 (-) |
| 平成22年3月期 第3四半期実績(連結) (前年同期比) | 59,084 (+ 3.8%) | 2,145 (+ 434.7%) | 1,887 (-) | 1,875 (-) | 1,795 (+ 61.8%) |

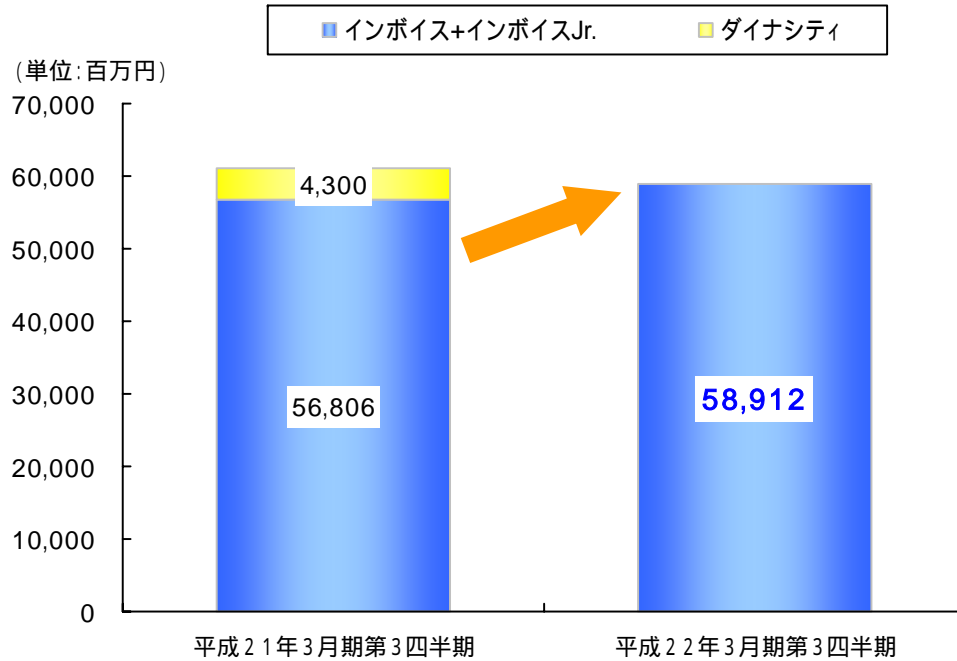
インボイスおよびインボイスJr.は、平成22年1月26日開催の取締役会において、平成22年4月1日を効力発生日としたインボイスを存続会社、インボイスJr.を消滅会社とする吸収合併を決議いたしました。連結実績には、インボイス、インボイスJr.以外の連結子会社の実績が含まれております。

| 《ご参考》 【平成21年3月期第3四半期】 | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 税引前当期純利益 | 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|----------|--------|
| インボイス + インボイスJr. | 56,806 | 1,542 | 1,509 | 20,184 | 20,176 |
| ダイナシティ | 4,300 | 929 | 1,348 | 9,040 | 9,056 |
| 平成21年3月期 第3四半期実績(連結) | 61,445 | 401 | 98 | 2,172 | 4,702 |

ダイナシティは、平成21年3月期の当社連結において、第1四半期のみ連結計上し、第2四半期以降ははずれております。第3四半期実績(連結)には、日本テレコムインボイス株式の売却益209億円を含んでおります。特別損益の計上、のれん償却・内部取引・少数株主利益などの調整を行っておりますため、主要各社別数値の単純合計は連結数値と一致していません。

平成22年3月期第3四半期決算の概要 - 連結

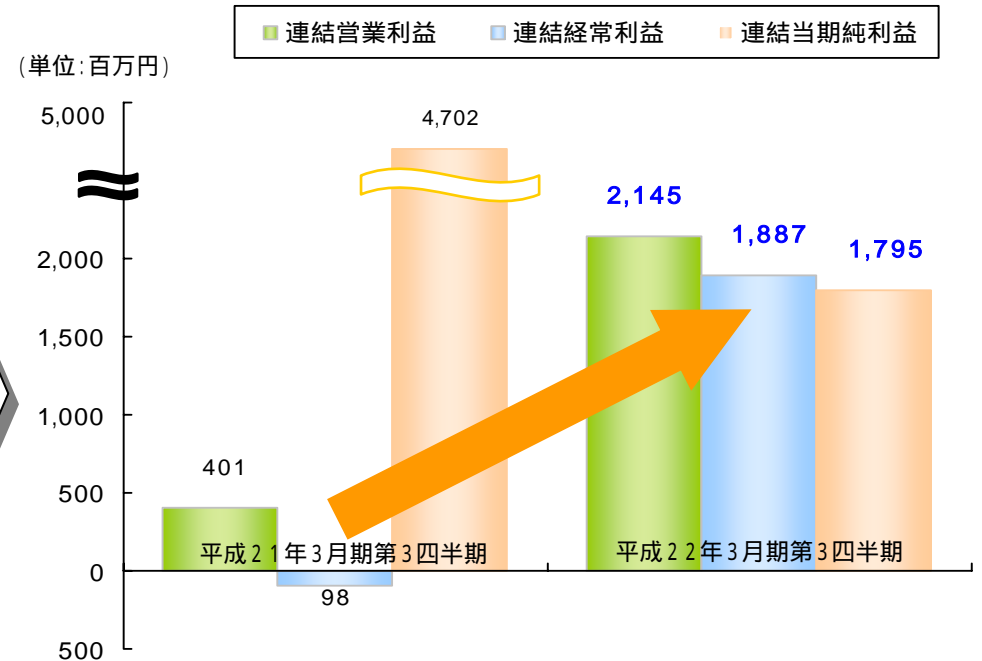
連結売上高



【売上高】

本業である通信事業が、営業強化の成果により順調に推移したことで、売上高は前年を上回ったものの(前年同期比+3.7%)、「ダイナシティ」の非連結化により減収

連結営業利益・経常利益・当期純利益



【営業利益・経常利益】

上記増収要因とともに、採算性の見直しおよび経費の削減等により、収益性は大幅に向上

前期の不動産関連事業に係る損失は、今期損益には影響せず

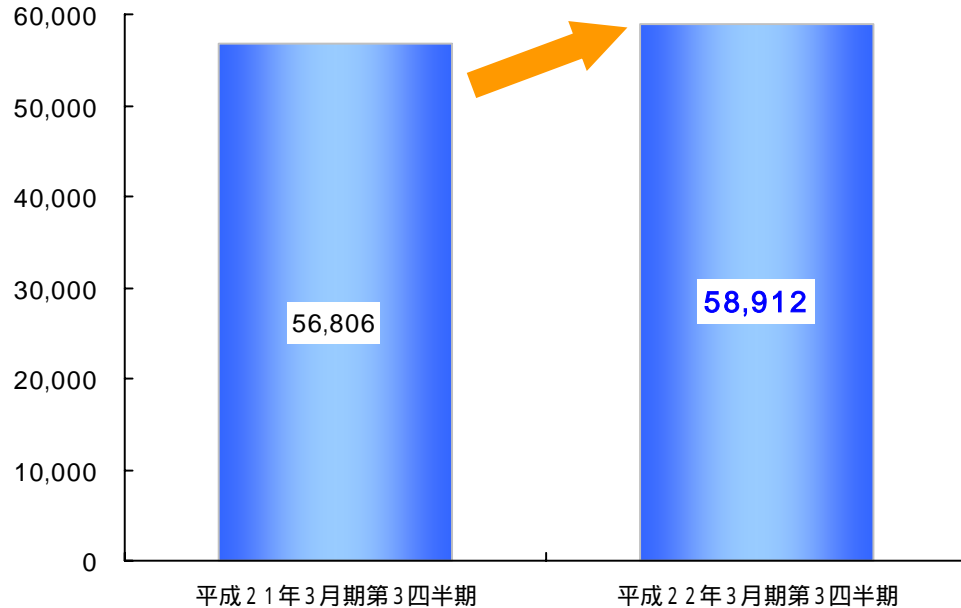
【当期純利益】

前期決算において、日本テレコムインボイス株式売却益、不動産関連事業に係る損失等を計上するとともに、繰延税金資産を計上
今期は特殊要因なく、結果前年同期比減益

平成22年3月期第3四半期決算の概要 - インボイス+インボイスJr.(通信事業)

インボイス+インボイスJr. 売上高

(単位:百万円)

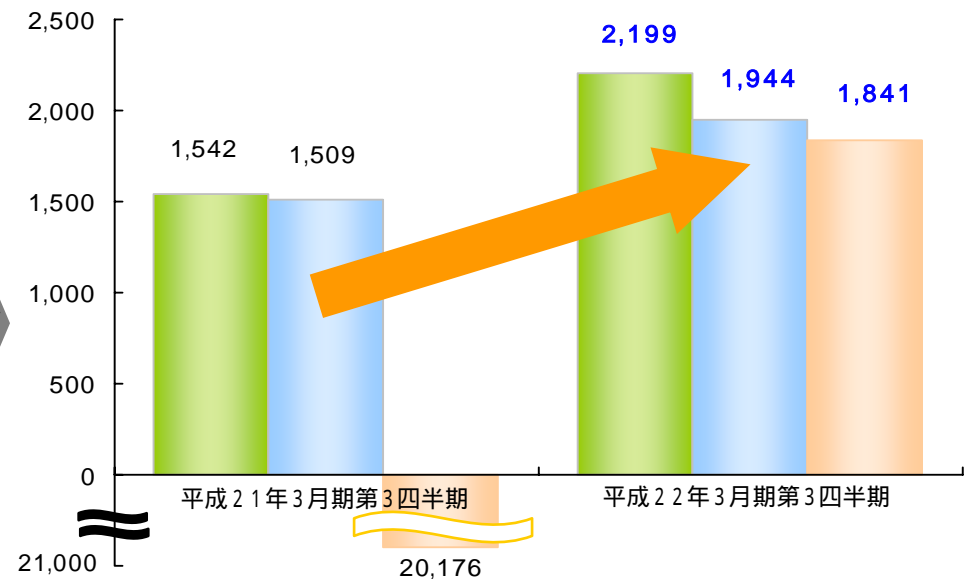


【売上高】 前年同期比 + 3.7%
 通信料金の低価格化が進む中、
 新規顧客の獲得など営業強化の成果により、
 主力事業である通信料金一括請求サービスは、
 順調に推移

インボイス+インボイスJr. 営業利益・経常利益・当期純利益

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

(単位:百万円)



【営業利益】 前年同期比 + 42.5%

【経常利益】 前年同期比 + 28.8%

採算性の見直しおよび経費の削減等により、収益性は向上
 有利子負債の削減による支払利息の減少等も影響し、
 営業利益・経常利益ともに前年を大きく上回る

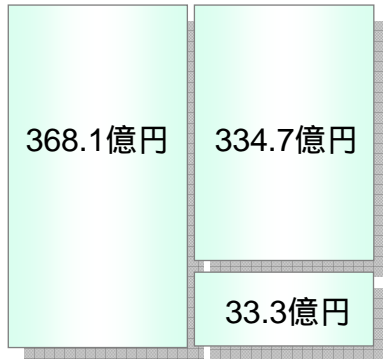
【当期純利益】

前期決算において、
 ダイナシティに対する貸倒引当金繰入、株式評価損等
 多額の損失を計上
 今期は特殊要因なく、結果前年同期比増益

平成22年3月期第3四半期 財政状態 - 連結貸借対照表

第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)

【ご参考】
第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)



【資産の部】主な増減要因
現金預金 + 19.5億円
破産更生債権 23.7億円

【負債の部】主な増減要因
買掛金 + 17.9億円
長期借入金 29.0億円

【純資産の部】主な増減要因
利益剰余金 + 7.4億円

| | | | |
|------------------------------------|---------|--------------------------------------|---------|
| 資産の部 365.4億円 (2.6億円) | | 負債の部 324.5億円 (10.2億円) | |
| 【流動資産】 | 212.5億円 | 【流動負債】 | 237.6億円 |
| (主な内訳) | | (主な内訳) | |
| 現金預金 | 51.4億円 | 買掛金 | 116.7億円 |
| 受取手形 | | 短期借入金 | 105.0億円 |
| および売掛金 | 139.4億円 | | |
| 【固定資産】 | 152.9億円 | 【固定負債】 | 86.8億円 |
| (主な内訳) | | (主な内訳) | |
| 有形固定資産 | 4.0億円 | 社債 | 4.0億円 |
| 無形固定資産 | 15.8億円 | 長期借入金 | 74.6億円 |
| 投資その他 | 133.0億円 | 債務保証損失 | |
| 【内訳】 | | 引当金 | 6.2億円 |
| 投資有価証券 | 3.9億円 | | |
| 投資不動産 | 90.6億円 | | |
| 敷金保証金 | 4.7億円 | | |
| 破産更生債権 | 13.6億円 | | |
| 繰延税金資産 | 27.1億円 | | |
| 貸倒引当金 | 7.5億円 | | |
| | | 純資産の部 40.9億円 (+ 7.6億円) | |

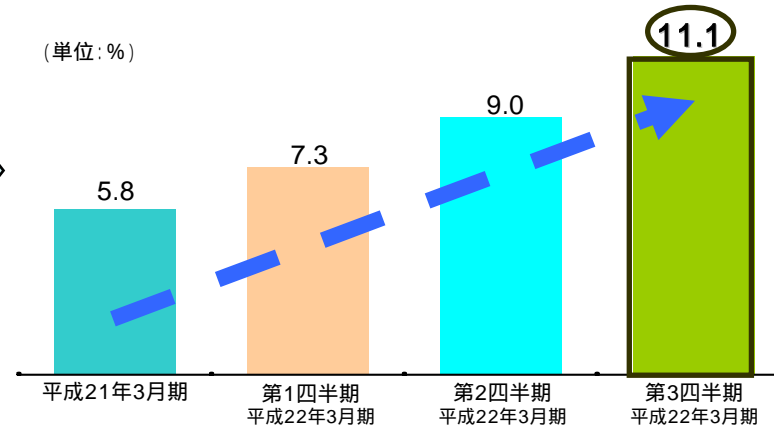
【自己資本比率】 11.1%

平成22年3月期第3四半期 財政状態の概要

財務体質は順調に改善

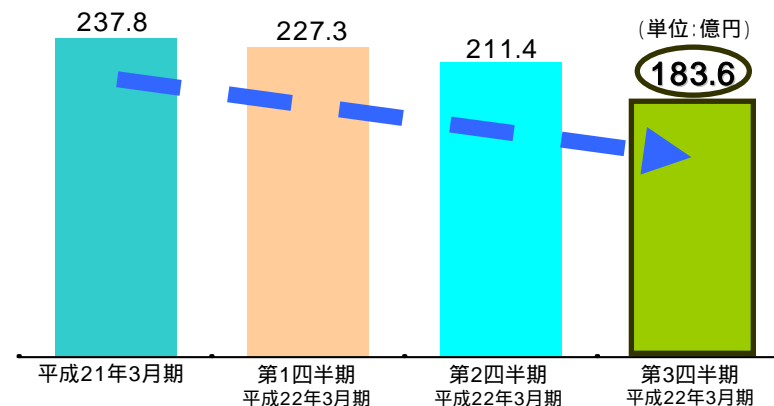
自己資本比率

(単位: %)



+ 5.3%の改善
(平成21年3月期比)

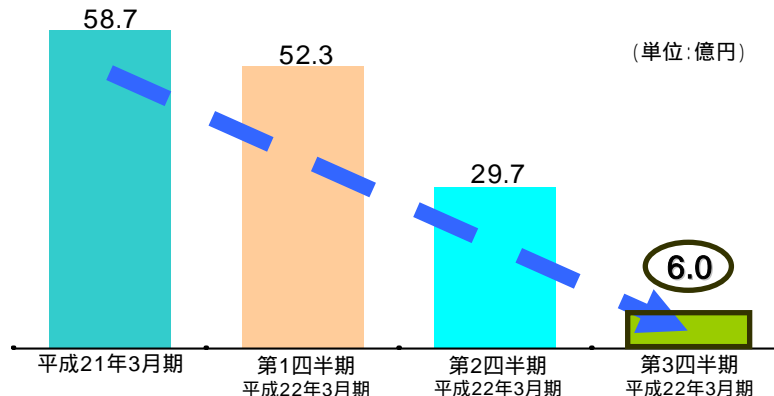
有利子負債



54.1億円の削減
(平成21年3月期比)

破産更生債権

(注) 破産更生債権については、貸倒引当金
控除後の金額を記載しております。



52.6億円の減少
(平成21年3月期比)

引続き通信事業は好調

採算性の見直しおよび経費の削減等の施策により
通信事業は大幅増益

【平成22年3月期第3四半期】

【平成21年3月期第3四半期】

| 通信事業 (インボイス+インボイスJr.) | | (単位:百万円) |
|--------------------------|--------|----------|
| 売上高 | 56,806 | |
| 営業利益 | 1,542 | |
| 経常利益 | 1,509 | |

採算性の見直し

経費の削減

営業力の強化

| 通信事業 (インボイス+インボイスJr.) | | (単位:百万円) |
|--------------------------|--------------|---------------------------|
| 売上高 | 58,912 | |
| 営業利益 | 2,199 | +656 42.5%増 (前年同期比) |
| 経常利益 | 1,944 (注) | +434 28.8%増 |

(注) 前期については、ダイナシティ貸付金に対する受取利息を計上。
今期は同社よりの受取利息がないこと等が、前年同期比の営業利益増益幅(+656百万円)に比べ、経常利益の増益幅(+434百万円)が減少している主な要因となっております。

インボイスによるインボイスJr.の吸収合併

グループの事業運営の更なる効率化



平成22年3月期業績予想(通期)について

(単位:百万円)

【平成22年3月期 **今回予想**】

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 税引前 当期純利益 | 当期純利益 |
|---------------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------|--------------------|
| インボイス + インボイスJr. (前年同期比) | 75,800 (+0.2%) | 2,600 (+23.5%) | 2,200 (+14.6%) | 2,150 (-) | 2,050 (-) |
| 平成22年3月期 通期予想(連結) (前年同期比) | 76,000 (+5.4%) | 2,550 (+149.2%) | 2,150 (+621.4%) | 2,100 (-) | 2,000 (+192.2%) |

インボイスおよびインボイスJr.は、平成22年1月26日開催の取締役会において、平成22年4月1日を効力発生日としたインボイスを存続会社、インボイスJr.を消滅会社とする吸収合併を決議いたしました。連結予想数値には、インボイス、インボイスJr.以外の連結子会社の数値が含まれております。

【平成22年3月期 **当初予想**】

| | | | | | |
|----------------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| インボイス + インボイスJr. | 73,300 | 2,320 | 1,860 | 1,840 | 1,740 |
| 平成22年3月期 通期予想(連結) | 73,500 | 2,270 | 1,810 | 1,790 | 1,690 |

【平成21年3月期(前期実績)】

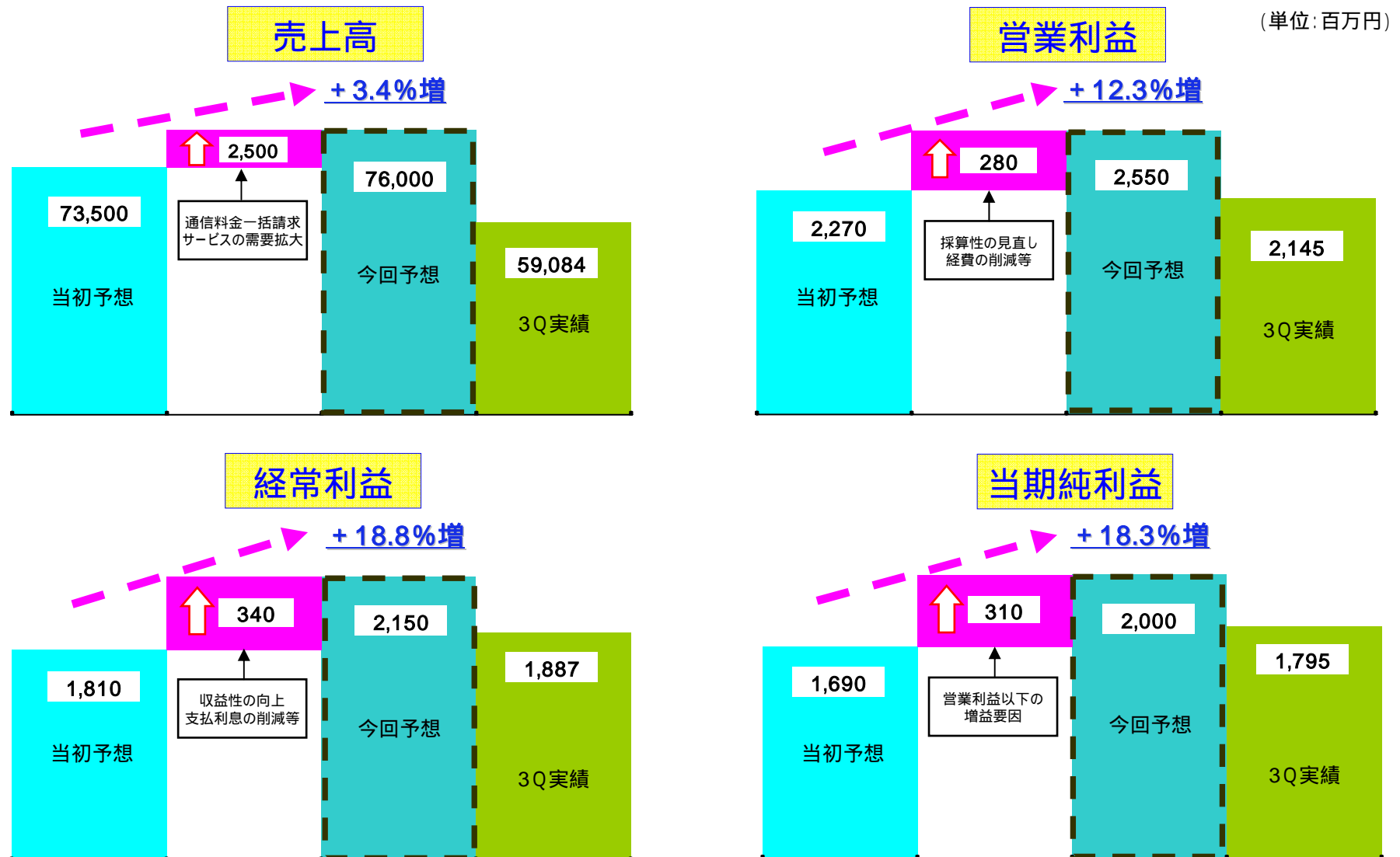
| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 税引前 当期純利益 | 当期純利益 |
|----------------------|--------|-------|-------|--------------|--------|
| インボイス + インボイスJr. | 75,674 | 2,106 | 1,919 | 24,412 | 24,202 |
| ダイナシティ | 4,300 | 929 | 1,348 | 9,040 | 9,056 |
| 平成21年3月期 前期実績(連結) | 80,369 | 1,023 | 298 | 6,393 | 684 |

ダイナシティは、平成21年3月期の当社連結において、第1四半期のみ連結計上し、第2四半期以降ははずれております。前期実績(連結)には、日本テレコムインボイス株式の売却益209億円を含んでおります。

特別損益の計上、のれん償却・内部取引・少数株主利益などの調整を行っておりますため、主要各社別数値の単純合計は連結数値と一致しておりません。

平成22年3月期連結業績予想の概要

通信料金一括請求サービスの需要拡大により、業績は好調。
また採算性の見直し・経費の削減等を積極的に進めたことで、今期業績予想を上方修正。



本説明資料および将来の記述に関するご注意事項

本資料は、当社または当社グループ(以下、「インボイスグループ」といいます。)の平成22年3月期第3四半期決算を平易に説明することを目的として作成した業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価などといった、将来に関する記述が記載されています。

これらの将来に関する記述は、インボイスグループが現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、認識、評価、判断等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の変動可能性の要因(以下、「リスクおよび変動可能性の要因」といいます。)を含んでいるものです。したがって、これらのリスクおよび変動可能性の要因による影響を受けることがあるため、インボイスグループの将来における実際の展開、実績、経営成績、財政状態は、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なる可能性があります。また、インボイスグループはこの資料を発行した後は、本資料における将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

インボイスグループの主たる事業活動領域であります情報通信産業市場は、常に急速な変化に晒されています。

インボイスグループに重大な影響を与え得るリスクおよび変動可能性の要因は多数あり、その例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、および経済環境、競合条件、法令の変化などがあります。なお、リスクおよび変動可能性の要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料におきましては、インボイスグループの過去の業績、平成22年3月期第3四半期の業績および平成22年3月期の業績予想などを平易に説明するために、決算短信等における事業の種類別セグメントとは別に、主要各社別に業績数値を記載している部分があります。その場合の表記および指し示す内容は以下のとおりであり、のれん償却、内部取引、少数株主利益などを調整していないため、主要各社別の業績数値の単純合計は連結財務諸表の業績数値と一致するものではありません。

| | |
|--------------------|--|
| 「インボイス + インボイスJr.」 | 株式会社インボイスおよび株式会社インボイスJr. の連結業績数値 なお、平成22年1月26日開催の取締役会において、平成22年4月1日を効力発生日としたインボイスを 存続会社、インボイスJr.を消滅会社とする吸収合併を決議しております。 |
| 「ダイナシティ」 | 株式会社ダイナシティおよび同社の連結子会社の連結業績数値(同社の民事再生手続開始等により、 過去の業績のみに、当社の連結対象となる平成20年6月末までの業績数値が反映されております。) |